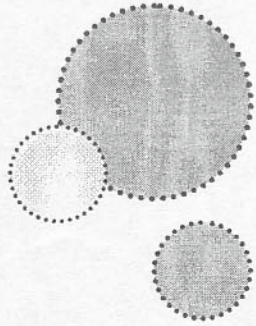


平成19年度

# 第8回まちづくりシンポジウム

- 日 時 平成20年2月23日(土) 午後1時30分より
  - 会 場 越谷市北部市民会館 劇場
  - 共 催 越谷市コミュニティ推進協議会・越谷市
- 

## ★★★ 目 次 ★★★

### ① 桜井地区コミュニティ推進協議会

「平成19年度桜井地区まちづくり推進事業」

発表者 島田 三佐子 氏・杉山 福子 氏・・・1

### ② 大相模地区コミュニティ推進協議会

「不動橋こいのぼりフェスティバル」

発表者 若井 秀昭 氏・斎藤 久雄 氏・秋山 良雄 氏・・・9

### ③ 南越谷地区コミュニティ推進協議会

「まちの問題調査事業＝南越谷地区まちづくり平成18年度アンケート」

～ 調査結果とみえてきたこと～

発表者 根津 孝男 氏・早水 誠治 氏・・・14

先ず自己紹介をさせて戴きます。

私はコミ協防災部会に所属する根津と申します。

ニーズに基づいた防犯活動への準備委員会 12 名の 1 人として最初から参加させて貰いました。

地味な活動でしたが大変だったこともありましたが、このような機会を与えて下さった関係者に感謝しつつこの場所に立っています。

それでは発表します。パソコン担当は早水です。私ともどもよろしく願います。テーマは、18 年度まちの問題調査事業の調査結果と見えてきたこと。

説明骨子は調査結果を主体に南越谷の現状、そして今後の取組みを説明します。

本日、皆さんにお配りした広報紙（コミュニティ南越谷 臨時号）と各コミ協に 1 冊ずつお渡しした(調査結果報告書)の 2 種類です。

平成 17 年末に実施した住民意識調査で(治安と環境)への意見が多く出され、コミ協としても方向が確認されました。

犯罪と場所は密接に関係します。防犯への個人と環境整備の対応策はすぐ浮かびますが、住民の目と声が最大の防御という観点から（住民のかかわり方）について、皆さんがどう思っているかを調査することにしました。

平成 18 年末に 20 歳以上 800 名へお配りし、612 名から回収を得ました。回収率は 76.5%でした。

記入は無記名、複数回答方式そして地域特性把握のため在籍町名を記入して貰いました。

防犯の選択 6 項目と皆さんから戴いた意見の特記を説明します。

- 1.個人で協力できること 近所・仲間同士の助け合い
- 2.環境づくりに協力できること 公共施設の清掃と街灯チェックがほぼ同数
- 3.参加できる防犯活動 地区内清掃
- 4.ご存知の防犯パトロール 安全安心まちづくり協議会パトロール

(安全安心まちづくりパトロール) 5 年前から駅中心に活動しており、キッカケは行政指導で、1 コミ協を超え駅中心の 16 団体に構成され、月 1 度に略 60 名が参加し 4 班編成でパトロールを実施している。

なお、南越谷地区としては 14 団体 6 老人クラブが活動しています。

これが活動状況の写真です。

最初の 2 枚が安全安心まちづくりパトロール、次が青少年指導員の自転車パトロール。自治会老人クラブのパトロール、有志による子ども見守り隊パトロールです。

- 5.成果の得られるパトロール 団体同上の連携・協力
- 6.犯罪防止に向けて望むこと 街路灯の地区内点検

選択項目特記として例を挙げて説明しますと上位 3 項目で 60%、4 項目で 80%を占める結果でしてこれは他 5 項目も同様で、住民のかかわり方の方向が見えてきました。

- 7.戴いた意見 352 件の集約項目 防犯について地域としての取組み方

主要意見はコミュニケーションと連携協力です。



1.南越谷は13町ありますが10地域での集約分析としました。

2.個人で防犯に協力できることの上位3項目の地域別全表示です。

これを部分拡大して見てみますと順位の入替えはあれ、ほぼ同じです。

この傾向は他の5項目も同じでこれといった地域特性はありませんでした。

1.防犯について地域としての取り組み方の地域別全意見です。

これを部分拡大し、各地域と共通で同じ意味の言葉をピックアップして見ますと、連携、挨拶・声かけ、お知らせとなります。

2.パトロールについての参考意見の地域別全意見です。

これを部分拡大し、同様なことをして見ますと、犬と散歩、参加呼びかけ、連携となります。

3.環境・美化・風紀・治安・交通安全に関する実態と要望の地域別全意見です。

字は小さいですが赤く見えるところは全部駅をいう文字です。これを部分拡大して見ますと、このような表現となっております。駅か。近い、遠いに関係なく地域の玄関というべき駅周辺への意見が圧倒的でした。

防犯意見ではコミュニケーションの大切さや近所同士の助け合いの重要性がのべられ、それへの対応を強く感じました。

犯罪件数ということに触れて見ますと、犯罪といっても、自転車盗や車上ねらい、空き巣等の街頭犯罪件数ですが、越谷市の月平均は300件。南越谷駅前交番管轄は2割の60件。我々の活動拠点である地区センター管轄では上記の1/3で20件です。

越谷市には駐在所を含めて14の交番があります。1管轄は1/14すなわち7%ですので、2割は3倍となり大変多い数字です。そしてこういうところに住んでいるのだという認識です。

最近、安全安心まちづくり協議会会長や関係者のご尽力により、皆さんが気にしている駅周辺に23台の防犯カメラが設置されました。

今後の住民・各団体そして行政とが一体になっての活動により、目標の安全安心まちづくりに寄与出来ることを願ってやみません。

アンケート結果を踏まえ19年度のコミ協全体会合で会長から3つの方針がだされました。

方針と受け止め方を説明しますと、

1.コミ協としてできること

企画・実施するボランティア活動としてできる仕組みを提案すること。

2.各団体と連携・協力するもの

コミ協内の5部会、26自治会含めた38団体。安全安心まちづくり推進協議会等と連携する仕組みを提案すること。

3.行政と連絡するもの

方針・条例を把握し企画や情報提供にきちんと活かすこと。

住民・各団体・行政とのコーディネイト役を果たし、情報共有化の仕組みを構築する。

1.防犯ハンドブックや一声運動のポスターを作成し配布する。

## 2.情報共有化システムの構築

これをイメージで説明しますと、チェックリストに基づくパトロールや市民からの情報を収集・分析して各団体に提供する。

各団体は、事業計画に反映させて実施する。そしてその経過を広報やインターネットを通じて皆さんにお知らせするというシステムを構築する。といった内容です。

南越谷コミ協で 20 年度に新部会として発足させるか検討中でしたが、一昨日の全体会合で独立が了承されました。今はこれだけのつたない説明で手を挙げてくれる人がいるか心配です。

以上で説明を終了します。ご静聴有難うございました。